

厚真町 ローカルベンチャー等 推進事業 について

厚真町では平成28年から「ローカルベンチャー等推進事業」に取り組んでいます。

この事業の目標の一つは「厚真町での『挑戦』の数を増やす」ことです。そのために、厚真町を選んで『挑戦』を始める人材である「起業型地域おこし協力隊」を募集し、起業という形での『挑戦』を増やすことを事業の中心に据え、「ローカルベンチャー・スクール運営事業」「基盤整備事業」「関係人口創出事業」「情報発信事業」の4事業を柱として連携させながら進めてきました。

2回にわたる特集のうち今回は、4事業の概要と本事業全体のコンセプトを紹介いたします。

事業の4つの柱

事業の中心で起点となる取り組みは、ローカルベンチャー・スクールであり「起業型人材を町内に呼び込むこと」です。

起業型人材を呼び込むためには、厚真町を知ってもらうための「情報発信」が必要です。そして、いきなり地域に移住し起業することはハードルが高い場合もあることから、その入り口として継続的に厚真町に興味関心を持つ「関係人口の創出」。加えて、起業を望む人や地域に興味関心のある人が、厚真町を訪れたときに実感する来訪者と「共に楽しむ雰囲気」の創造。これらに総合的に取り組むことで相乗効果を発揮できるように、本事業は4つの柱を組み合わせる形で構成されています。

1 起業型人材を呼び込む ローカルベンチャー・スクール運営

厚真町で起業もしくは新規事業の創出を目指す「起業型人材」を募り事業計画を磨き選考する取り組み

2 ともに楽しむ雰囲気を作る 基盤整備

町民が起業や新規事業に対し興味を持ち、支援や関わりを持つといった文化を醸成するために、講演会や研修会等の開催を企画する取り組み

- ・ローカルモーカル研究会
(町外の魅力的な方々を招いた講演会)
- ・町の新規事業を共に学ぶ講演会 など

3 継続的に厚真に興味関心をもってもらおう 関係人口創出

厚真町と何らかのつながりを持ちたい、一緒に何かしたい想いを持つ町外者を創出するための機会を企画・実行する取り組み。また、町が管理するコミュニティサイトの運営

- ・あつまの森を歩く会(北海道大学森林研究会)
- ・北海道大学ボランティアサークル「あるぼら」との交流
- ・インターンシップ受け入れ(東京都の大学生) など

4 厚真を知ってもらう 情報発信

厚真町のモノ・コト等をウェブサイトやSNS、町の広報紙等で発信し、厚真町に関心を持つきっかけを提供する取り組み

- ・ウェブサイト…あつまんま ※3月に「あつまのおと(atsuma-note)」にリニューアル予定
- ・SNS…フェイスブック、インスタグラム ・広報あつまでの特集記事 など

事業の中心となるローカルベンチャー・スクール コンセプトは「植人」

ローカルベンチャー・スクールで起業型人材を募っていくにあたり、事業開始当初から継続するコンセプトがあります。それが「植人」です。

地域で自らの夢を叶えたいと本気で願う人材を地域の中に「植えていく」。植樹が苗木を山に植えることであるように、植人とは夢の種をもった「苗木」を地域に植えていくことをイメージした造語です。

夢の種を持った苗木を集め続ける。自分の想いを地域で実らせる人が増え、地域にさらに人が集まっていく。人が人を呼び、挑戦する人の周りに挑戦する人がさらに集まる。人を介した挑戦の連鎖によって、未来に実現される地域の活性化を想像しながら、本事業に取り組んでいます。



また「ローカルベンチャー」という言葉は「移住者だけでなく町内在住者を含むすべての挑戦を始める人や企業」を表すと考えています。この定義に沿えば、昔からある企業も操業を始めたときはローカルベンチャーです。その後地域に根つき、長い時間を越えて今この町にある。そういった企業が新たなローカルベンチャーを励ますような温かな関係が、町のにぎわいや楽しさを増やしていく大事な基盤になると考えています。

このように町内外、起業歴の長短を問わず、さまざまな挑戦の連鎖がこの町に生まれていく「きっかけ」としてローカルベンチャー・スクールが機能することを目指しています。

これまでの過去5年で、このローカルベンチャー・スクールを通過してすでに厚真町に着任した「起業型地域おこし協力隊」は12人です。

少しずつですが、この苗木たちの周りに次の挑戦をする人が集まってきており、「挑戦者の数を増やす」というコンセプトの最初の目標が実現し始めています。

次のステップとしては「挑戦者とそれを応援する人をつなげていく」ことです。そのためにもまずは厚真町の中で起こっているさまざまな挑戦を町民の皆さんにお知らせする機会を増やし、実際に関わり、応援してもらえる機会を増やしていきたいと考えています。

ローカルベンチャー事業は、移住・定住や関係人口の創出、地域の活性化などに寄与する大切な事業の一つです。町民の皆さんに広くご理解とご協力をいただくため、4月号でも引き続き本事業について紹介します。

ローカルベンチャー・スクール参加者の推移

エントリー者数	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
町内からエントリー	3人	1人	1人	0人	1人
道内からエントリー	12人	8人	11人	4人	8人
道外からエントリー	6人	14人	10人	2人	7人

採択者数・移住者数	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
起業型地域おこし協力隊	2人	4人	2人	0人	4人
その他	1人	1人	2人	1人	0人



令和3年度ローカルベンチャー・スクールの様子